

# 平成 28 年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

横浜市大岡地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

大岡地域ケアプラザのエリアは本大岡地区、井土ヶ谷地区の2つのエリアが対象となっています。両エリア併せて、約 29,000 人の人口。(平成 26 年 3 月末統計)

65 歳以上の高齢化率は約 23%。そのうち、一人暮らし高齢者が約 1,300 人と高齢者の約 20%を占めています。

両エリアの課題としては、高齢者本人のみならず、本人を取り巻く家族の問題、老朽化した住居の問題、経済的な問題等多岐にわたり、地域ケアプラザに寄せられる相談も、誰にも頼ることができない「キーパーソン」不在の高齢者が増加してきており、相談窓口である地域包括支援センターが行政や地域、また様々な関係機関と連携しなければ対応できないような相談が多くなってきています。

また、昨年度の介護保険制度の改正により、要支援等軽度者のサービス提供においては「総合事業」へと移行している状況の中で、軽度の高齢者の地域における「受け皿」の整備、地域で活動できる人材の育成など、地域包括ケアシステムを具体的にどのように形作っていくかが大きな課題となっています。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ・開所して 24 年目となりますが、施設全体が老朽化してきており、南区役所と事前に協議を重ねながら、事故に至らぬよう早めに修繕・補修等行っていきます。
- ・3 館合築の「大岡健康プラザ」として、地区センター、スポーツセンターと連携を図りながら、施設全体の維持管理を専門の業者に委託し、定期的な保守・点検を行っていきます。
- ・高齢者から乳幼児まで幅広い方々が利用されるため、施設内で事故が生じないように施設内の整理整頓、安全管理に努めていきます。

### イ 効率的な運営への取組について

- ・費用対効果の考え方を職員間で共有していきます。各事業においてもこれまでのやり方の見直しを行い、時間管理、コスト管理などを工夫しながら効率的な運営を図ります。
- ・職員の定着が効率的な運営につながることを考え、「目標設定」、「振り返り」など職員と定期的に進捗状況等の確認の場を持っていきます。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付窓口（受付者：社会福祉士、責任者：所長）を設置し、苦情の申し出には迅速な対応が取れる体制を整備していきます。
- ・ 施設内に「苦情受付担当者」「第三者委員」の氏名、連絡先等を掲示し、地域の方々に周知していきます。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 職員全員のメーリングリストを作成し、それをいくつかのグループに細分化しながら緊急時の安否確認等の体制を作っています。
- ・ 災害時「特別避難場所」として機能を果たすことができるように、職員とともに開設、運営における手順、役割分担の確認作業を進めていきます。また、応急備蓄品の確認なども定期的に行っていきます。

#### オ 事故防止への取組について

- ・ 施設内で生じた事故等については、所内で共有し、また、所内各種会議等において事故の原因を探り、また具体的な対策を考えていきます。
- ・ 特に事故が予測される通所介護事業においては、実際の事故を事例とし、グループワークを行い、原因究明、具体的な対策をスタッフ全員で考えながら再発防止に努めていきます。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報の持ち出しは原則禁止。ただし、業務上やむを得ず持ち出ししなければならない場合は、最小限にとどめ、「持出品確認票」に記入し、他の職員とともに確認し、また帰社時には同じく他の職員とともに返却の確認を徹底しています。
- ・ ファックス誤送信防止のため、「指さし確認」「声出し確認」を複数の職員で確認しています。
- ・ USBメモリの使用については「包括用」「請求用」「地域用」の3本のみを使用としています。保管においてもキーボックスで管理し、鍵のかかる書棚にて保管しています。

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 「介護サービス情報の公表制度」に伴い、通所介護、居宅介護支援事業についての公表を行っていきます。
- ・ 個人情報の開示請求があった場合には、法人の「個人情報管理規程」に則り、適正に対応していきます。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

- ・施設内で不用となる物品、壊れて使用できない物品などを洗い出し、また法人の規程における保存期間の過ぎた書類等についても速やかに廃棄処分していきます。
- ・昨年度、太陽光パネルをケアプラザ屋上に設置しており、災害時等の際の非常用の電源としていきます。

#### ケ 人権啓発への取組について

- ・高齢者や障害のある方々など他者と関わるのがケアプラザの仕事であり、自分とは違う他者の存在を認め、大切に「思いやりの心」を一人一人の職員が見失うことがないように、事業所内で何でも話し合えるような「環境」を整えていくとともに、研修などを通して、「差別」「偏見」「ハラスメント」など人権に関わる意識を高めていけるように進めていきます。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- ・ 社会福祉士 2
- ・ 主任介護支援専門員 1
- ・ 経験ある看護師 1
- ・ 予防プランナー 2

#### 《目標》

- 1 看護師
  - ・ 地域の高齢者が出来る限り自立して、住み慣れた地域で生活できるように介護予防に係る取り組みを進めていきます。
- 2 主任介護支援専門員
  - ・ 居宅介護支援事業者、介護支援専門員のサポートを進めていくこと、また、地域において認知症の理解が深まっていくように関係機関と連携し取り組んでいきます。
- 3 社会福祉士
  - ・ 地域の高齢者等の相談窓口として親切で丁寧な対応を心がけていきます。また、権利擁護、虐待防止など関係機関と連携を図りながら対応していきます。
- 4 予防プランナー
  - ・ 介護予防のプラン作成のために、予防プランナーを配置して対応していきます。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR）》

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
245	245	245	245	245	245
10月	11月	12月	1月	2月	3月
245	245	245	245	245	245

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 介護支援専門員 3

《目標》

- ・ 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、個々のニーズに沿ったサービスが提供されるように、事業者、関係機関と調整を行い、利用者本位の居宅サービス計画書を作成していきます。
- ・ サービス事業者の選定においては、公正・中立な立場を守ります。
- ・ 関係機関、医療、行政などと連携を通して「顔の見える関係」を構築し、より良いケアマネジメントに反映させていきます。
- ・ 介護支援専門員の連絡会、外部機関等による関連研修などに積極的に参加し、専門職としてのスキルアップを目指していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 居宅介護支援においては利用者負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センター併設の強みを活かし、支援困難ケースに対しても積極的に関わっていきます。また、介護保険のみならずインフォーマルな活動とも連携してコーディネートしていきます。
- ・ 地域ケアプラザ内の他の部門（通所介護・地域活動交流・地域包括支援センター）と共に地域に潜在する課題やニーズの発掘や対応の方向性など、連携し対応していきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 □	5月	6月	7月	8月	9月
100	100	100	100	100	100
10月	11月	12月	1月	2月	3月
100	100	100	100	100	100

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス
- 機能訓練サービス 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要介護1） 794円
  - （要介護2） 927円
  - （要介護3） 1,064円
  - （要介護4） 1,021円
  - （要介護5） 1,338円
- 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:10~16:15

《職員体制》

- 生活相談員
- 介護職員
- 機能訓練指導員
- 調理員
- 送迎車両運転手

《目標》

- ・ 利用者が住み慣れた地域で生活していくことができるように、日常生活のための機能の維持、向上を目指し機能訓練に力を入れ取り組んでいきます。
- ・ 認知症の利用者の方々が安心して1日をすごしていただけるように、職員の認知症に対する理解、また対応においてスキルアップを図っていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ その方の興味に応じた選択制のレクリエーションを行っています。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
720	744	720	744	744	720
10月	11月	12月	1月	2月	3月
744	720	672	672	672	744

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス
- 機能訓練サービス 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要支援1） 1,975円
  - （要支援2） 3,930円
- 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:10~16:15

《職員体制》

- 生活相談員
- 介護職員
- 機能訓練指導員
- 調理員
- 送迎車両運転手

《目標》

- ・ 介護予防サービス計画書に基づいて予防通所介護計画書を作成し、利用者の生活機能の維持、向上を目的としておこなっていきます。

《特徴的な取組、PR等》

- ・ 絵手紙、押し花、書道などボランティア等の協力をいただきながら、幅広い選択できるレクリエーションの提供を行っていきます。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	20	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・地域の福祉・保健の窓口として、南区役所と連携して対応していきます。特に多問題ケースに関しては様々な関係機関と連携を密にして迅速に対応していきます。
- ・エリアである井土ヶ谷地区では、毎月3回、地区の民生委員の方々と連携を取りながら「出張相談」を開催していきます。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・当該エリアに居住等している「認知症キャラバンメイト」の方々と定例会を開催していきます。「認知症サポーター養成講座」など、地域活動交流、地域包括支援センターが連携して開催をしていきます。
- ・各地区の民生委員協議会に参加し、困難ケースの把握や介護保険制度についての講習会、研修会の開催に関わっていきます。

### 3 職員体制・育成

- ・各事業とも、人員配置基準、資格要件等を満たし、業務を遂行しています。欠員等が出た際には、法人本部と連携を取り、速やかに人員配置をしていきます。
- ・人事考課制度のもと、職員とは年度の目標を立てるところから、進捗状況の確認、定期的な振り返りを行いながら、職員個々のスキルアップにつなげていきます。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区とのそれぞれの関係者、関係団体と事業、会議、研修などを通して連携を図り、幅広いネットワークを構築していきます。
- ・障がい者の関係においても、南区障がい児者団体連絡会、生活支援センター、また地域の作業所、横浜国立大学特別支援学級などとも連携を図りながら、ネットワークを構築していきます。

### 5 区行政との協働

- ・第3期南区地域福祉保健計画の推進にも、南区役所、南区社会福祉協議会と連携し、参画していきます。
- ・南区の認知症事業の支援をはじめ、認知症キャラバンメイトの支援を共同で行っていきます。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・南区、南区社会福祉協議会と協働し、アセスメントシートを活用し、情報の更新や見直しを進めていきます。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区それぞれで開催している子育て、高齢者サロン等の情報を広報誌の中でも取り上げ、地域の方々に情報の発信をしていきます。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・施設の利便性の良さを最大限に生かし、地域の様々な福祉・保健関係の団体の登録を進めていきます。
- ・「マタニティ・ヨガ」や「サンサンクラブ体操教室」など既存の団体がOB会や仲間作りの場として別のグループを立ち上げていますが、そのような団体にも利用の促進と活動を広げていきます。

### 3 自主企画事業

- ・地域の様々な事業、サロン等に関わっていく中で、どのようなニーズが顕著なのか、また、地域ケアプラザとしてどのようなことが切に求められているのかを洗い出しながら、自主企画事業を進めていきます。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・昨年度から実施している「ボランティア・カレッジ」を今年度も開催し、参加者に対してケアプラザでのボランティアの紹介、また地域の様々な活動の中でのボランティアの紹介など行い、地域で活動できる人材の掘り起し、育成を行っていきます。
- ・同様に昨年度から実施している「ボランティア感謝会」を今年度も開催し、既存のボランティアの定着を図ること、またボランティア個々の、また団体間のネットワーク作りを進めていきます。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

- ・立地条件の良い施設であるため、子どもから高齢者まで幅広い層からの相談が日々、寄せられています。電話での相談、またアポイント無しの来所での相談等、日々、多くの様々な相談がありますが、関係機関等とも連携を図りながら親切で丁寧な対応を心がけていきます。
- ・ケアプラザから少し距離のある井土ヶ谷地区においては、「出張相談」を定期的に行なっています。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

- ・今年度も「元気づくりステーション」を協働で支援していきます。本大岡地区「遊友」については、自主活動期に入るため継続できるようなフォローと新メンバーの受け入れ窓口となります。井土ヶ谷地区「いどがや」は自主活動に移行できるように働きかけていきます。
- ・認知症サポート・キャラバンメイトとの展開を協働で進めます。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区の民生委員児童委員協議会へのサポートや各勉強会の側面的支援を協働して実施します。
- ・サロンなどでの介護予防事業の展開を協働で進めます。

#### 実態把握

- ・アセスメントシートにより、地域の情報を押さえ地域支援チームにも参加し、実態把握に努めています。

### 2 権利擁護

#### 権利擁護

- ・地域のサロン等に出張して、成年後見制度や消費者被害等に係る周知を行っていきます。
- ・個別支援等を通して相談を受け、必要なケースには専門機関につなげていきます。

#### 高齢者虐待

- ・民生委員、介護事業所等からの情報を基に、関係機関と連携を深めながら、必要な支援につなげていきます。

## 認知症

- ・大岡エリアのキャラバンメイトと定期的な連絡会を開催し、情報交換、また「認知症サポーター養成講座」などの開催も連携して行っています。
- ・大岡地域ケアプラザの事業である「ボランティア・カレッジ」の中でも、認知症の方々の理解のために「認知症サポーター養成講座」を1コマ組み込んでいます。

### 3 介護予防マネジメント

#### 介護予防ケアマネジメント力

- ・横浜市介護予防支援指導者研修で得た内容を踏まえ、区の担当者と連携し、相談しながらケアマネジャー支援等を行っていきます。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

#### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・本大岡、井土ヶ谷地区において、両エリアの民生委員とケアマネジャーとの交流会を開催し、「顔の見える関係」作りを進めていきます。

#### 医療・介護の連携推進支援

- ・地域の医療機関、薬局等との連携を進めていきます。
- ・ケアマネジャーとの交流会などでも医療関係者に講師を依頼するなど、連携を図っていきます。

#### ケアマネジャー支援

- ・区内の新人ケアマネジャーを対象にして、「新人ケアマネジャー研修会」を今年度も行っています。
- ・本大岡、井土ヶ谷地区の民生委員とケアマネ交流会を持ち、地域の方々と「顔の見える関係」作りを行っていきます。

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・南区在宅療養支援ネットワークの事務局として、地域の関係機関のネットワーク作りにかかわっていきます。
- ・地域、医療、介護事業者、また区役所、区社会福祉協議会などと連携して、地域ケア会議を定期的に行っていきます。

## 介護予防事業

#### 介護予防事業

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区において、介護予防教室を行っていきます。
- ・高齢者のサロン等においても、介護予防体操を実施していきます。
- ・両エリアの「元気作りステーション」が地域の方々を中心に進めていけるように区役所と連携し、支援を行っていきます。

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名：横浜市大岡地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	生活支援
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	16,294	28,605	149		14,772	92,463		5,480
	介護保険収入				5,760				
	その他								
	雑収入	120					965		
	経理区分間繰入金収入						1,800		
	<b>収入合計(A)</b>	<b>16,414</b>	<b>28,605</b>	<b>149</b>	<b>5,760</b>	<b>14,772</b>	<b>95,228</b>	<b>0</b>	<b>5,480</b>
支出	人件費	9,620	32,002			13,460	71,947		5,480
	事務費	2,999	1,399	2		775	6,360		
	事業費	834	560	147		13	12,920		
	管理費	1,600	403						
	その他								
	施設使用料相当額	1,977							
	その他支出					413			
	経理区分間繰入金支出						1,800		
	<b>支出合計(B)</b>	<b>16,676</b>	<b>34,364</b>	<b>149</b>		<b>14,661</b>	<b>93,027</b>		<b>5,480</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-262</b>	<b>-5,759</b>	<b>0</b>	<b>5,760</b>	<b>111</b>	<b>2,201</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

# 平成28年度 自主事業計画書

## 横浜市大岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おしゃべり交流サロン	高齢者及び身体障害（主に脳血管障害による中途障害）のある方が家に閉じこもらず定期的に集まり自分を表現したり多くの人の話を聞いたりすることにより脳を活性化させ、また自分たちでイベントを企画しながらみんなで継続的に創っていく会	原則毎月第2月曜日 13：00～15：00 〔年12回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニデイサービス 「プラザお楽しみ会」	ケアプラザまで歩いてくることの出来る高齢者の介護予防を目的として、ボランティアの協力のもと体操やレクリエーションを行い定期的集える場所として継続的に開催する。	原則毎月第4月曜日 13：00～15：00 〔年12回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大岡川ふれあいサロン	介護予防を目的として、本大岡地区社協と共催。ボランティアの協力のもと、ケアプラザまで遠い方でも身近な場所で定期的集い、体操、食事、レクリエーションを出来るよう、町内会館を利用して継続的に開催。	原則毎月第2金曜日 11：00～14：00 (8・2月 休み) 〔年10回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サンサンクラブ 体操教室	知的障がいのある小学生の余暇活動を支援する目的で、みんなで音楽に合わせて体を動かしたり、遊びの要素を取り入れた体操教室。教室の始まる前の時間を使って早くに自由にお絵かきや粘土などのレクリエーションの他、夏休みやクリスマスのレクリエーション等イベントも開催。保護者においては教室の時間を利用して、学年を超えて保護者同士の交流、情報交換の場所を提供。必要に応じ勉強会も行う。	5月～翌3月 原則第1・3水曜日 15：00～フリースペース 15：30～16：30体操 〔全18回〕

# 平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マタニティ ヨガ教室	出産を迎える妊婦さんの健康維持と社会的な孤立を解消するために、ヨガのほか助産師による相談や仲間作りを促すお話の時間も設ける。安心して出産に望める環境づくりを支援し虐待の予防を目指す。体操の他に、今までの卒業生を交えて出産の体験談など交流も行う。	5月～翌3月 第1・3木曜日 10:00～11:30 年3クール (1クール 5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マタニティ ヨガ教室同窓会	ヨガ教室の卒業生が出産を終えた後、1回集まって同窓会を行う。同じ時期に近場に住む妊婦同士がヨガ教室で仲間となり、出産を通して地域での協力し合う同志を確認し合う。また、ケアプラザにおける「子育て事業」に対する意見やアイデアを出してもらい、出産後もケアプラザを通して地域参加できる仕組みを作る。	年3回・不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おーおか通信 (広報紙)	本大岡・井土ヶ谷の両町内会協力のもと、約1200部を配布。ケアプラザの様子や介護保険等福祉の情報の提供を行う。さらにケアプラザからの情報発信源として、地域の情報も盛り込む。	年4回発行

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこサンデー	公的な場所で安心して遊べる「場」の提供と、父子の交流を図る若い世代へのケアプラザの周知。	原則毎月第1日曜日 13:30～16:00 (月1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス トーンチャイム コンサート	普段ケアプラザを利用している団体や個人、ボランティアの方を始め、近隣の福祉施設利用者の方とともにクリスマスを愉しむ企画。 日頃同じ場所を利用してもつながりがない人たちが、顔を合わせ交流を深める。	12月 1回

# 平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア カレッジ	介護保険の制度改正等があり、より地域活動が重要視されている中で、ケアプラザで活躍される以外の方々を対象に、地域の担い手や施設のボランティアを発掘、育成する。	コース制 7月 第3回 3回コース 11月 第4回 3回コース

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 感謝会	日頃よりケアプラザで活動していただいているボランティアに感謝会を行う。また、ボランティア同士が顔見知りの関係になってもらい、新しいつながりを築く場に。	11月 1回

## 平成28年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おしゃべり交流サロン	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②300						
	③なし						
ミニデイサービス 「プラザお楽しみ会」	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②300						
	③300						
大岡川ふれあいサロン	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②240						
	③600						
サンサンクラブ体操教室	①知的障がいのある小学児童	163,000	133,000	30,000	133,000	10,000	20,000
	②200						
	③200						
マタニティヨガ教室	①区内在住妊婦	135,000	45,000	90,000	120,000	5,000	10,000
	②300						
	③1500(5回分)						
マタニティヨガ同窓会	①マタニティヨガ教室卒業生	24,500	24,500	0	18,000	1,500	5,000
	②45組						
	③なし						
おーおか通信		40,000	40,000	0	0	0	40,000
にこにこサンデー	①未就園児親子	16,000	16,000	0	0	10,000	6,000
	②15組×10回						
	③なし						
クリスマス トーンチャイム コンサート	①地域全般	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	②50組						
	③100						
サロン合同クリスマス会	①原則65歳以上	20,000	15,000	5,000		17,000	3,000
	②50						
	③100						
ボランティア カレッジ	①地域全般	30,000	30,000		27,000	0	3,000
	②40						
	③なし						
ボランティア感謝会	①地域全般	50,000	50,000				50,000
	②40						
	③なし						

事業ごとに別紙に記載してください。